

03

東京都荒川区立第七峡田小学校

環境教育の概要 (平成19年度)

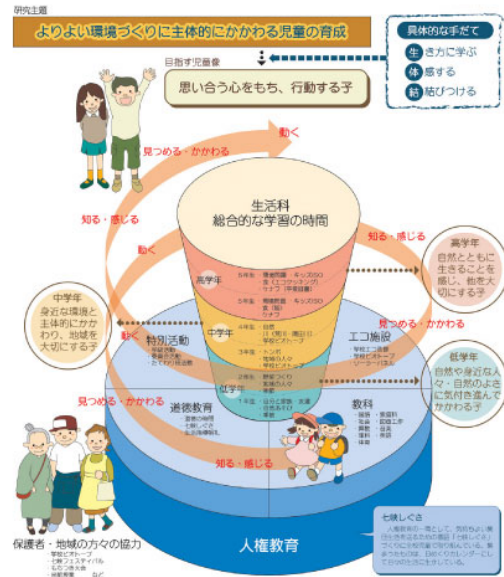
教育目標

- 自分も人も大切にする子
- 自分から進んで学ぶ子
- 心も体もたくましい子

(人権尊重の教育を基盤とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、国際社会に主体的に生きる人間性豊かな児童を育成する)

研究主題

より良い環境づくりに主体的にかかわる児童の育成
目指す児童像: 思い合う心を持ち、行動する子



<取組の特徴>

第七峡田小学校では、人権教育を基盤とした環境教育を3年間推進してきた。学校全体で「環境教育年間指導計画」を作成して実践したことで、6年間の系統性・連続性のある内容となった。環境教育の指導については、「知る・感じる」→「見つめる・かかわる」→「動く」→「知る・感じる」といったようにフィードバックを伴う螺旋状の指導過程を教職員で共有して進めた。環境教育の具体的な手だてとしては、人権教育で培った取組を活かした「生き方に学ぶ」という視点を大切に、「体感する」「結びつける」を加えた3つの手だてをもって実践し、環境教育プログラムを整備した。校舎を活かした環境教育として、5年生がエコ改修された校舎についての調査や実験を行い、全校や地域の人に発表している。

その他の特徴として、以前から近隣の住民との連携した行事や授業が行われており、本事業でもビオトープを地域の大人といっしょに作るなどの取組が行われた。今後も改修された校舎を活かした環境教育を地域と連携しながら実践することになっている。

環境にかかわる授業

学年	テーマ・めあて	関った教科と時間	取り組み内容	備考
1年生	自分や身近な人々・自然のよさに 気づき、進んでかかわる子	生活(101時間) 国語 道徳/音楽	なかよしっばいだいさくせん(6h) ぐんぐんそだて(32h) とびだせあそびたい(43h) いきものだいすき(12h) みんなだいすき(8h)	研究授業⑤
2年生		生活(112時間) 国語 道徳	なかよしっばいだいさくせん(6h) ぐんぐんそだて(53h) たんけんはっけん大ぼうけん(37h) ひろがれわたしのものがたり(16h)	研究授業④
3年生	身近な環境と主体的にかかわり、 地域を大切にする子	総合的な学習の時間 (60時間) 国語/社会/理科 図工(自由研究)	町屋たんけん(10h) ヤゴ救出大作戦(18h) 地域のすてきな人たち(10h) ヤゴや地域の自然をみんなに知らせよう(18h) 町会、消防団の人々(2h) 自然のためにできること(2h)	研究授業②
4年生		総合的な学習の時間 (60時間) 社会/理科	自然と関わろう(12h)※七峡ビオトープ 川を知ろう(14h) 荒川の自然を考える(10h) 荒川をもっと知ろう(16h) わたしたちが学んだこと『保護者に伝える会』 (8h)	研究授業①
5年生	自然とともに生きることを感じ、 他を大切にする子	総合的な学習の時間 (70時間) 国語/社会/理科/ 道徳/家庭科	ケナフ(14h) バケツ稲を育てよう(22h) ストップ・温暖化(10h) 環境にやさしい学校とわたしたち(24h)	研究授業⑥
6年生		総合的な学習の時間 (68時間) 国語/理科 家庭科	ケナフ(14h) 私たちにできること(52h)	研究授業③

環境教育の例

生き方に学ぶ

専門家や実践者との触れ合いを重視した学習

環境保全に力を尽くしている実践者、先人の知恵を伝承してくれる方、環境教育の専門家等を題材あるいはゲストティーチャーとして取入れた指導の実践。



5年生:ケナフの種まき



6年生:ケナフの卒業証書づくり

体感する

身近な自然にひたり、愛おむ学習

「なぜ」「どうして」「すごい」…等、疑問、感動が味わえる自然体験を中心にした指導を行う。



1年生:しぜんみつけ



2年生:ぐんぐんそだて

結びつける

自分の考えや思い、連続した思考のつながりを重視した学習

自分の考えや思いを植ウエビング・ポートフォリオの手法等を用いて、自分の考えを広げて結びつける指導を行うとともに、友達との考えを互いに共有する指導を行う。



3年生:ヤコ救出大作戦



4年生:ビオトープの観察

学校エコ改修の活用

学校エコ改修の機会をとらえ、身近な環境を「体感する教材」として、「住環境」「ビオトープ」など新たな分野の教材開発を行った。

3・4年生 七峡ビオトープづくり



粘土たたきの作業

4年生 緑のカーテンづくり



緑のカーテンの観察

5年生 環境にやさしい学校とわたしたち



STEP1
設計者から外断熱された校舎の話聞く。



STEP2
まずは自分の身体で改修内容を体感するための「暖まり大会開催!」とした授業を実践。



STEP3
校舎を暖めるには、...というテーマで行う実験や調査活動の実践。



STEP4
調べたことや分かったことを模型や実験機器を使って説明し、改修内容を学校や地域に広く発信。